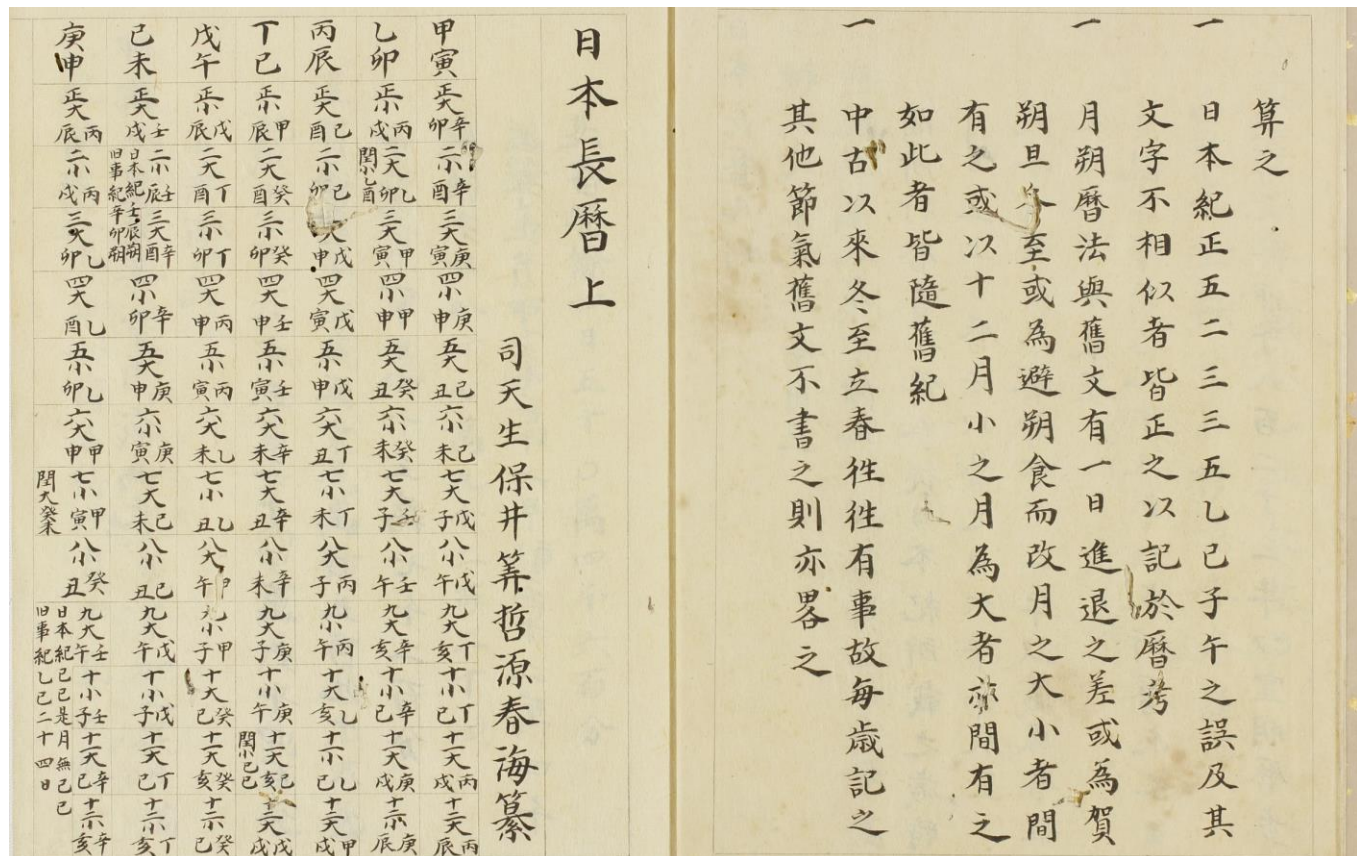




『日本長暦』

資料に親しむ会

暦の資料『日本長暦』を精読する。

江戸時代、渋川春海は紀元前667年から貞享2（1685）年までの約2300年間の毎月1日の干支や月の大小を計算し、日本で初めての「日本長暦」という書物にまとめました。今回はこの資料にどのようなことが書かれているのかを読み解きたいと思います。

令和7年度
第

2回

講師

京都府立京都学・歴彩館 資料課
藤原 直幸

日時 令和7年6月18日（水）
14:30～15:30 ※14:00開場

会場 京都学・歴彩館1階 小ホール

定員 70名（当日受付）

小ホール

